

調査の特徴

本調査の特徴は、以下のようにまとめられます。

①時代による変化がわかる。

この調査は時系列で調査することを目的として企画されており、調査項目は毎回調査で使用できるよう配慮している。

②年少児～小学校2年生までの学年差がみられる。

年少児から小学校2年生までの5学年（各学年1,000名弱）を対象に調査を実施しているため、各学年ごとの比較ができる。とくに園から小学校へと子どもの所属集団が変わる際の母親の意識の変化をとらえることができる。

③子育て中の母親の幅広い意識が把握できる。

子育てに関する内容を中心に、しつけ・教育情報の入手先、家庭と園・学校との役割分担、食事場面での親子の会話、母親が現在力を入れている活動など、さまざまな内容の調査項目を盛り込み、母親の意識を幅広い視点でとらえている。

④自由記述を細かく分析している。

自由記述をほぼすべてコード化し、自由記述の傾向を数量でみられるようにしている（コード表は独自に作成）。さらに、自由記述全体の傾向を把握するだけでなく、代表的な記述内容をデータの裏付けとして分析の際に活用している。